

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2015-15745(P2015-15745A)

【公開日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-005

【出願番号】特願2014-177628(P2014-177628)

【国際特許分類】

H 04 N 21/44 (2011.01)

H 04 N 21/436 (2011.01)

【F I】

H 04 N 21/44

H 04 N 21/436

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタルサービスソース装置を供給源として供給される少なくとも1つのデジタルサービスに対応するデータの少なくとも一部を再生するデータ再生方法であって、

前記デジタルサービスの第1パートを形成する第1のデータを受信するステップと、

前記受信された第1のデータを処理するステップと、

前記処理された第1のデータの出力を再生するステップであって、前記受信された第1のデータの処理及び/又は再生にかかる時間によって前記再生される第1のデータの出力において第1の遅延と称される遅延が生じる、ステップと、

前記デジタルサービスの第2パートを形成する第2のデータを受信するステップと、

前記受信された第2のデータを処理するステップと、

前記処理された第2のデータの出力を再生するステップであって、前記受信された第2のデータの処理及び/又は再生にかかる時間によって前記再生される第2のデータの出力において第2の遅延と称される遅延が生じる、ステップと

前記第1および前記第2の遅延を、前記デジタルサービスソース装置に通知するステップと、
を含み、

前記デジタルサービスの前記第1パートを形成する前記第1のデータがビデオデータであり、前記デジタルサービスの前記第2パートを形成する前記第2のデータがオーディオデータである、前記データ再生方法。

【請求項2】

少なくとも1つのデジタルサービスに対応するデータを送信する方法であって、

前記デジタルサービスの第1パートを形成するデータである第1のデータを出力するステップと、

前記デジタルサービスの第2パートを形成するデータである第2のデータを出力するステップと、
を含み、前記方法が、更に、

前記第1のデータの処理及び/又は再生の際に生じた遅延に関する第1の遅延量インジ

ケータを取得するステップと、

前記第2のデータの処理及び／又は再生の際に生じた遅延に関する第2の遅延量インジケータを取得するステップと、

取得された前記第1の遅延量インジケータ及び前記第2の遅延量インジケータに従って、前記ディジタルサービスの前記第2パートを形成する前記出力された第2のデータにプログラマブル遅延量を印加するステップと、

を更に含み、

前記ディジタルサービスの前記第1パートを形成する前記第1のデータがビデオデータであり、前記ディジタルサービスの前記第2パートを形成する前記第2のデータがオーディオデータである、前記方法。

【請求項3】

前記プログラマブル遅延量が、取得された前記第1の遅延量インジケータと前記第2の遅延量インジケータとの差に等しい、請求項2に記載の方法。